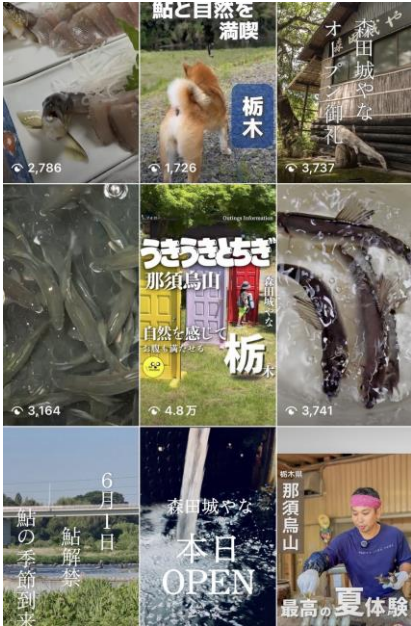


地域おこし協力隊活動報告書

隊 員 氏 名	大嶋 英治
報 告 期 間	令和 8 年 6 月 1 日（月）～令和 8 年 6 月 30 日（火）

活動報告①

業 務 名	森田城やなオープンの SNS 発信
業 務 内 容	森田城やなのシーズンオープンに合わせ、6月1日（月）は施設の魅力や鮎料理、周辺の自然環境などを紹介する SNS 発信を継続して行いました。オープン当日の様子や生きた鮎を調理・提供する様子、施設の雰囲気が伝わる動画を中心に投稿した結果、多くの方にご覧いただくことができました。特に「森田城やなオープン」などのリール動画は高い再生数を記録し、那須烏山市や森田城やなの認知度向上に一定の効果があったと実感しています。今後も那須烏山市への来訪者増加につながる情報発信を継続し、地域の魅力発信に取り組んでいきます。 

活動報告②

業 務 名	とちぎ地域おこし協力隊グループミーティング
業 務 内 容	6月 26 日（金）、県全体の地域おこし協力隊が集まるとちぎ地域おこし協力隊プラットフォームの「交流会・イベントグループ」及び「情報発信グループ」の第 1 回グループミーティングに参加しました。会場は大田原市役所及び矢板市の矢板ふるさと支援センターTAKIBI で、今年度の活動計画の作成や年間スケジュールについて協議を行いました。交流会・イベントグループでは、隊員同士の交流促進やイベント企画について意見交換を行い、情報発信グループでは、SNS や動画を活用した地域 PR の手法について検討しました。他市町の協力隊との情報共有を通じて新たな視点を得ることができ、今後はグループ活動で得た知見を那須烏山市の情報発信や地域活性化に活かしていきたいと考えています。 

活動報告③

業 務 名	地域おこし協力隊活動支援研修会
業 務 内 容	6月19日（金）、卒隊後の起業に向けた知識を深めるため、栃木県よろず支援拠点より中小企業診断士の山下典江氏を講師にお招きし、事業計画研修を受講しました。研修では、事業を計画する上で必要となる考え方、事業の目的、ターゲットと収益性を整理する重要性、並びに創業前に準備しておくべき事項などについてご指導いただきました。また、自身の事業内容を客観的に整理し、強みや課題を明確にすることの重要性についても学びました。今回の研修で得た知識を基に、今後は具体的な事業計画の作成を進めるとともに、卒隊後も地域課題の解決と那須烏山市の活性化に貢献できる事業の実現を目指していきたいと考えています。  

活動報告④

業 務 名	SNS 進捗報告
業 務 内 容	6月1日（月）の鮎解禁の様子が発信や、森田城やなの準備状況などについて継続して SNS 発信を行いました。動画や写真を活用した投稿を行う中で、投稿内容によって反応に差が見られ、発信方法の重要性を改めて感じました。特に現場の様子や作業風景は興味を持っていただきやすい傾向が見られました。今後も閲覧状況や反応を分析し、効果的な発信方法を検討していきます。 

今後の予定

業 務 名	森田城やな研修、なすからブランド推進
業 務 内 容	・ 森田城やなでの研修を継続 ・ なすからブランド事業所への取材、SNS 発信継続 ・ 鮎の情報発信

その他

--